

## 愛犬クイズ+イヌと一緒に楽習運動：訓育遊技—MedleyBasicObedience

# メドレー・ベーシック・オビディエンス@埼玉・川越

主管:ドッグスポーツ愛好会

日本では室内で暮らすイヌが増え、栄養や健康管理（ケア）も良くなり、イヌの寿命もヒトと同様に伸びています。良いことばかりではなく、イヌにもヒトと同じように肥満や痴呆症などの問題も起きてきています。ソフト面から見ると、より簡便なドッグスポーツを取り入れてみることでイヌとの暮らしにも、さらに潤いが増してくると思います。ドッグスポーツはイヌのためばかりでなく、ドッグオーナーも愛犬と一緒に上達する喜びを楽しむことができます。

MedleyBasicObedience メドレー・ベーシック・オビディエンス 愛犬クイズ  
問：幕末の日本に艦隊を率いて来航したペリー提督が、アメリカに連れて帰ったという日本原産の犬種は、次のどれでしょう？

- ① 日本テリア
- ② 秋田
- ③ 日本スピッツ
- ④ 狆

このゲームから、ドッグオーナーが愛犬の運動の大切さの理解を深められるとともに、イアン・ダンバー博士が、ゲームを通してイヌがしつけられていくように考えた「K9ゲーム」と同様の効果を期待しています。楽しみとしてばかりではなく、イヌがヒトの社会で暮らすためのマナーも「メドレー・ベーシック・オビディエンス」にチャレンジする中から、学び取ることも可能ではないかと考えています。

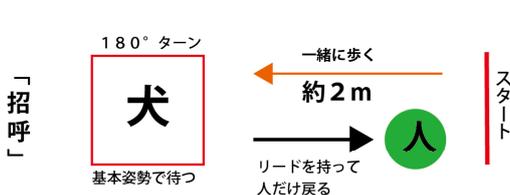
メドレー・ベーシック・オビディエンスはベーシック・オビディエンス（準備訓練）の習熟を図れるばかりではなく、アジリティーやオビディエンスなど、世界中で楽しまれている様々なドッグスポーツの基本訓練にも繋がるゲームです。

- ・開催日：2017年10月28日（土曜日）10：00～15：00（随時）
  - ・開催地：FETCH！（埼玉県川越市吉田107） TEL：049-233-2176
  - ・メドレー・オビディエンス参加費：無料 ※規定のドッグラン入場料が掛かります。アジリティーボール体験会と同時進行開催。
- ※お問い合わせ先メール wanco@dogsports.jp

### ■訓育遊技／メドレー・ベーシック・オビディエンスの概要

MedleyBasicObedience メドレー・ベーシック・オビディエンス 訓育遊技

## わんこと対面から、足元に呼び戻す



リードを持って対面から犬を足元に呼び戻す。

同伴犬に付けたリードをどちらかの手に持って、スタート位置から約2m前方のポジションに向かって歩きます。決められたポジションに着いたら、180°ターンしてスタート地点に向けて、止まります。同伴犬に基本姿勢（フセ、オスワリ、タッテ）の指示をかけます。  
同伴犬が基本姿勢を取れたならば、ハンドラーはリードを持って、スタート地点に向かって歩きます。リードが若干緩んだ状態で対面できる位置まで移動し、向き合います。アイコンタクトがとれたら、同伴犬を呼んで足元に戻ったら、終了です。

ラリーオビディエンスはアメリカ発祥のオビディエンス（訓練競技）で、ヨーロッパでも人気が高まってきたドッグスポーツです。プレートに書かれた動作を順番にクリアしながら、ゲーム感覚で同伴犬と一緒に楽しむレクリエーション・スポーツとしての趣が受け入れられ、より気軽に参加できる「訓練競技」として人気があるようです。この「ラリーオビディエンス」をヒントに、オリエンテーリングの要素も加味して、アレンジしたゲームが「メドレー・ベーシック・オビディエンス」です。

駅イベントなどで行われているスタンプラリーのように、幾つかのチェックポイントを、会場となるフ

ィールド内に設定して行います。例えば、8ヶ所のチェックポイントを設け、4ヶ所は「○×クイズ」などのクイズポイント、4ヶ所は「マテ60秒」などのオビディエンスポイントにします。各ポイントには課目内容を書いたプレートやクイズの設問の書かれたプレートを設置します。廻る順番を決めて同伴犬と一緒にスコアシートに記入しながら、チェックポイントをクリアしていくゲームです。